

「待機的心拍動下冠動脈バイパス術における術後リハビリの進行に影響する因子の検討」

この研究に関する科学的・倫理的妥当性については、当院の「臨床研究審査委員会」で審議され、その実施について病院長より許可を得ています。この研究の実施期間は、2022 年 4 月 12 日から 2022 年 12 月 31 日までを予定しています。

【研究の意義・目的】

狭心症や心筋梗塞に対する待機的心拍動下冠動脈バイパス術術後のリハビリを行うにあたり、経過が順調な患者さんとそうでない患者を経験します。経過が順調でない場合、在院日数も伸び、医療資源も多く必要とする状況です。そこで、待機的心拍動下冠動脈バイパス術術後のリハビリの進行に影響する因子を明らかにし、術後経過が順調な患者さんとそうでない患者さんの傾向を把握することで、手術前の段階から対策を立てることで、在院日数の短縮や自宅退院率向上に貢献できるようにすることを研究の目的としています。

【研究の対象】

小倉記念病院において 2017 年 1 月 1 日から 2022 年 12 月 31 日の間に、狭心症や心筋梗塞に対して待機的心拍動下冠動脈バイパス術を受けられた患者さんを対象としています。

【研究の方法および情報の取扱い】

ご提供いただく情報は、年齢、性別、栄養状態（血清アルブミン値、白血球数、リンパ球数）、サルコペニアの有無、BMI、5m 歩行速度、握力、フレイルの有無、転倒危険度、介護保険取得状況、家族の介護力の問題、既往歴の有無（心疾患、心臓以外の血管疾患、高血圧、糖尿病、脂質異常症、腎機能低下、透析、呼吸器疾患、脳血管疾患）、喫煙歴、狭心症、心筋梗塞に伴う自覚症状の有無、心不全症状の有無、NYHA、BNP、不整脈の有無、心エコー検査所見、肺機能検査所見、切開方法、手術時間、人工呼吸器装着時間、術前後体重差、酸素投与時間、体外式ペースメーカー装着時間、ドレーン挿入時間、合併症の有無、術後リハ開始までの日数、術後離床（端座位）開始までの日数、術後歩行開始までの日数、術後歩行自立獲得までの日数、術後 6 分間歩行実施までの日数、術後 6 分間歩行距離、集団療法開始までの日数、転帰（自宅退院、転院）、在院日数についてです。

これらの情報は、通常の診療で得られた診療記録より抽出しますので、新たに身体的及び経済的負担が生じることはありません。

得られた情報は、個人情報漏えいを防ぐため、お名前、住所などの個人を特定する情報を削除した上で研究用の番号で管理し、当院の研究責任者・宮川 幸大の責任の下、保管・管理されます。また、本研究の結果について学会発表や論文掲載等を行う際は、個人が特定できる情報が含まれないようにした上で、公表します。

【利益相反について】

この研究は特定の研究者や企業の利益の為にやるものではありません。また、この研究により患者さんの利益（効果や安全性など）が損なわれることもありません。

【連絡・問い合わせ先】

この研究や個人情報の取扱いに関するご質問やご相談等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。またご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申し出ください。

なお、対象となる患者さんの情報がこの研究に用いられることについて、患者さん（もしくは患者さんの代理人）にご了承いただけない場合には、研究対象としないのでお申し出ください。その場合でも診療上の不利益が生じることはありません。

連絡先：

小倉記念病院 リハビリテーション課 担当者 宮川 幸大
〒802-8555 北九州市小倉北区浅野三丁目2番1号
電話 093-511-2000（代）